「樋門監視システム（仮称）」にかかる情報提供依頼実施要領

|  |
| --- |
| Ⅰ基本事項 |

1. 提供を依頼する情報

　　　　本システムでは、樋門の開閉状況を把握することで内水氾濫の早期把握を実現することを目的とし、あわせて内外水位や映像により河川の状況を把握できる仕組みを備え、樋門操作員の負担軽減にも資するものとします。つきましては、この開発に必要となる情報をご提供くださいますようお願いいたします。

1. 提出物

　　　Ⅲに示すとおり

1. 提出期限

　　　令和７年９月１９日（金）１７時までにご提出をお願いします。

1. 提出方法

　５．に定める提出先へ電子メール、または持参により提出してください。

1. 提出先・お問合せ先

　　　県土マネジメント部河川整備課　担当：山口

〒630-8501奈良市登大路町30

　　　　　　　　　　　　　Tel:0742-27-7504（直通）

e-mail: kasen@office.pref.nara.lg.jp

1. その他
2. 情報提供にかかる費用につきましては、各社にてご負担いただきますようお願いします。
3. 本件情報提供依頼において掲げている新システム開発の基本条件は、実際のシステム開発委託を調達する際の仕様・要件定義と内容が一致するものではありません。各位から提供していただいた情報その他を総合的に勘案した上で、令和８年度５月頃に正式な仕様書を提示して調達を行う予定としています。

|  |
| --- |
| Ⅱ「樋門監視システム（仮称）」開発の基本条件 |

1. 概要
・県管理樋門を対象に、災害対応業務の円滑化に資する樋門監視システムを構築する。
・システム化範囲
　県管理樋門を対象に以下をシステム化する。
	1. 樋門開閉状況の閲覧・通知機能
	2. 水位や画像による樋門付近の河川状況の閲覧機能
2. 現行業務について
事務フロー、主要な課題と想定改善施策

（別添参考資料参照）

1. システムへの要求
・システムに期待する主な機能
	* 1. 樋門の開閉状況をリアルタイムに表示し、閉鎖の際に関係者へ通知を行う。
		2. 内外水位やカメラによる画像により、樋門操作員が閉鎖を行うかどうかの判断を支援する。
		3. 閉鎖に伴って発生する業務内容を職員向けに提示。
		4. 県管理の樋門に加えて、国管理のものの開閉状況を把握可能にする。
2. ・その他
　①職員1人1人に配備している「共通端末」のインターネット環境から利用できること

|  |
| --- |
| Ⅲご提供いただく資料 |

1. 貴社概要
提案可能サービスと体制
2. 導入実績・導入規模
3. 提案概要とその優位性

（現行事務フロー・課題・改善施策に対する提案）

・新サービス・システム概要説明

・基本的な仕様（ＯＳ、開発言語、システム方式、DB等のミドルウェア、特徴等）

・新システム構成図・ハードウェア構成図

・新システム機能構成図、機能概要

・システム機能要件・非機能要件（セキュリティ等）

・システムのイメージ（画面・帳票サンプル）

・システム運用スケジュール（年間）

４．概算見積書の提出

本システムに要する費用の見積りを添付の「標準見積書様式」に従って作成し、提出してください。開発作業にかかる経費については、「（別紙）開発スケジュール様式」に従って、作業項目ごとの開発スケジュールを作成し、添付してください。

なお、見積りにあたり、詳細条件又は追加条件等が必要な場合は、貴社で条件を設定し、それらを示したドキュメントを添付してください。

ここに記載している「標準見積書様式」「（別紙）開発スケジュール」は、構築するシステムの構想がほぼ確定した段階で、経費の積算を行うために提出してもらう見積書を想定しており、詳細な内容を記載する様式となっています。

よって、システム構想が確定していない初期の段階でのＲＦＩで、見積書の提出を求める場合は、より簡易な内容のもので構いません。